



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場会社名 三浦工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6005 URL <http://www.miuraz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 祐二

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 野口 明彦

TEL 089-979-7010

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,981	10.9	990	65.2	1,276	41.3	711	42.1
23年3月期第1四半期	14,416	2.1	599	16.6	904	0.6	500	△4.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 539百万円 (70.5%) 23年3月期第1四半期 316百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.50	—
23年3月期第1四半期	13.07	13.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	95,668	80,751	84.4	2,100.38
23年3月期	98,071	81,433	83.0	2,118.14

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 80,738百万円 23年3月期 81,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,500	9.4	2,400	10.1	2,750	10.4	1,700	41.3	44.23
通期	74,000	9.0	5,800	13.8	6,500	11.0	4,000	30.5	104.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) MIURA MANUFACTURING AMERICA CO.,LTD. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	41,763,704 株	23年3月期	41,763,704 株
24年3月期1Q	3,323,900 株	23年3月期	3,324,400 株
24年3月期1Q	38,439,804 株	23年3月期1Q	38,322,532 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)のわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響を受けて、生産や輸出、設備投資などが停滞し、雇用情勢や個人消費も悪化するなど、景気は不透明な状況で推移しました。

このような状況の中でミウラグループは、東日本大震災で被災された地域やお客様の復旧に全力で取り組み、「やっぱりミウラ」と感じていただけるようお客様満足の向上に努めてまいりました。また、コーポレート・ステートメント「熱・水・環境のベストパートナー」の下、お客様の抱える問題を解決するため、大容量ボイラーやMI(多缶設置)システム、水処理装置、熱エネルギー有効活用機器などの提案をグローバルに展開し、業績の拡大に努めてまいりました。さらに、今後一層グローバルな成長を続けるため、平成23年3月、メキシコに現地法人MIURA BOILER MEXICO, S. A. DE C. V.を設立するなど、販売・メンテナンス体制の再構築を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、主力の小型ボイラーが回復し、食品機械やメンテナンスも順調に推移したことにより、売上高は159億8千1百万円と前年同四半期(144億1千6百万円)と比べ10.9%増となりました。

利益面につきましては、増収効果により、営業利益は9億9千万円と前年同四半期(5億9千9百万円)と比べ65.2%増、経常利益は12億7千6百万円と前年同四半期(9億4百万円)と比べ41.3%増、四半期純利益は7億1千1百万円と前年同四半期(5億円)と比べ42.1%増となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

[ボイラー等販売事業]

小型貫流ボイラー及び関連機器は、既存の事業領域に加え、石油化学プラントや製紙業界など新たな市場開拓を推し進めたことにより、大容量ボイラーが好調に推移しました。また、食品、化学業界向けも回復したことにより、増収となりました。

水処理装置及びボイラー用薬品は、軟水装置や純水装置等が低調に推移したことにより、水処理装置が減少しましたが、ボイラー用薬品は前年同四半期並みの水準を維持しました。

この結果、当事業の売上高は73億1千8百万円と前年同四半期(59億3千9百万円)と比べ23.2%増となりました。

[水管ボイラー及び冷熱機器等販売事業]

水管ボイラーは、熱媒ボイラーが堅調に推移し、船用補助ボイラーも新造船需要の回復を背景に増加したことにより、増収となりました。冷熱機器は、食品用真空冷却装置は大幅に伸長しましたが、医療用滅菌装置が減少したことにより、減収となりました。環境事業は、PCB分析前処理装置等が減少したことにより、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は24億4千9百万円と前年同四半期(24億8千5百万円)と比べ1.4%減となりました。

[メンテナンス事業]

メンテナンスは、独自のメンテナンス体制を活かし、東日本大震災で被災された地域やお客様の復旧に全力で取り組み、お客様満足の向上に努めました。また、引き続き「ベストパートナー戦略」を推進し、お客様への省エネルギー提案やサービス強化に取り組み、メンテナンス契約の受注確保に努めました。

この結果、ZMP(3年間有償保守管理)契約などが増加し、当事業の売上高は62億1千3百万円と前年同四半期(59億9千2百万円)と比べ3.7%増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ24億3百万円減少し、956億6千8百万円となりました。これは、主に有価証券の減少などによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ17億2千2百万円減少し、149億1千6百万円となりました。これは、主に賞与引当金の減少などによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ6億8千1百万円減少し、807億5千1百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月2日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間においてMIURA MANUFACTURING AMERICA CO., LTD. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当社は当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しており、連結子会社は、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,431	11,328
受取手形及び売掛金	18,387	17,541
リース債権及びリース投資資産	2,740	2,655
有価証券	14,703	11,202
商品及び製品	3,341	4,012
仕掛品	1,657	1,928
原材料及び貯蔵品	3,837	4,173
繰延税金資産	1,841	1,865
その他	759	656
貸倒引当金	△147	△135
流動資産合計	57,552	55,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,308	14,751
機械装置及び運搬具(純額)	2,015	2,416
土地	9,779	10,082
建設仮勘定	192	363
その他(純額)	978	1,016
有形固定資産合計	27,274	28,630
無形固定資産	554	545
投資その他の資産		
投資有価証券	10,408	9,107
その他	2,328	2,191
貸倒引当金	△46	△34
投資その他の資産合計	12,690	11,263
固定資産合計	40,519	40,439
資産合計	98,071	95,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,060	2,374
関係会社短期借入金	10	10
未払法人税等	1,226	529
前受金	5,252	5,649
製品保証引当金	417	440
賞与引当金	2,598	882
その他	4,409	4,335
流動負債合計	15,973	14,221
固定負債		
繰延税金負債	25	25
退職給付引当金	91	102
役員退職慰労引当金	471	490
環境対策引当金	17	17
資産除去債務	12	12
その他	45	46
固定負債合計	665	695
負債合計	16,638	14,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,544	9,544
資本剰余金	10,088	10,088
利益剰余金	68,458	67,949
自己株式	△5,055	△5,055
株主資本合計	83,034	82,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△411
為替換算調整勘定	△1,271	△1,376
その他の包括利益累計額合計	△1,614	△1,788
少数株主持分	13	13
純資産合計	81,433	80,751
負債純資産合計	98,071	95,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	14,416	15,981
売上原価	8,389	9,415
売上総利益	6,026	6,565
販売費及び一般管理費	5,427	5,575
営業利益	599	990
営業外収益		
受取利息	40	44
受取賃貸料	94	94
為替差益	17	6
受取配当金	73	79
その他	82	64
営業外収益合計	308	289
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	3	2
営業外費用合計	3	2
経常利益	904	1,276
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	1
前期損益修正損	17	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	—
特別損失合計	29	1
税金等調整前四半期純利益	874	1,275
法人税等	374	563
少数株主損益調整前四半期純利益	500	711
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	500	711

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	500	711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	△68
為替換算調整勘定	86	△104
その他の包括利益合計	△184	△172
四半期包括利益	316	539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315	537
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ボイラー等 販売事業	水管ボイラー 及び冷熱機器 等販売事業	メンテナンス 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	5,939	2,485	5,992	14,416	—	14,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	618	168	—	787	△787	—
計	6,557	2,653	5,992	15,203	△787	14,416
セグメント利益又は損失(△)	△453	337	1,653	1,538	△938	599

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用となっております。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ボイラー等 販売事業	水管ボイラー 及び冷熱機器 等販売事業	メンテナンス 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	7,318	2,449	6,213	15,981	—	15,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	532	139	—	671	△671	—
計	7,850	2,589	6,213	16,653	△671	15,981
セグメント利益又は損失(△)	△93	273	1,741	1,921	△931	990

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用となっております。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。